

子どもものむし歯予防へ

小中学校にフッ化物洗口の導入を下

川崎市議会議員 野田まさゆき 自民党

医療費抑制にも大きく貢献

むし歯予防に効果のある適正濃度のフッ素の水溶液でブクブクうがいをする「フッ化物洗口」の導入は、医療費抑制にもつながるといわれています。

子どもの貧困解消へ導入は必須

現在、本市の小学校1年生から6年生までの歯科医療費は、年間推計で約14億9千万円、中学生全学年ま

「子どもの貧困」解消にもつながります。ある歯科医師

で含めると、約22億3千万円です。川崎市内の市立小中学校へのフッ化物洗口の導入費用は約1300万円で、助成費や医療費の削減にもつながり、予防歯科としては効果が絶大です。子どもものむし歯が、若者生活調査では、むし歯の有無は、就学前、小学校、中学校卒業以降のいずれの段階においても、所得の水準が相対的に低い世帯で未治療のむし歯がある割合が、習行的に行う学校でのフッ化物洗口はむし歯予防に非常に効果的です。市長は「未来を託す子どもたちにより良い環境を」を訴え、中学校完全給食を実現し、小児医療費の助成制度拡充にも触れていきます。健康な歯を将来にわたって維持する為、川崎市歯科医師会が提唱するフッ化物洗口の導入をすべきです。

野田まさゆき



- 平成27年初当選
- 総務委員会所属
- 昭和44年生まれ
- 日本大学理工学部卒
- 東急グループで17年間勤務
- 衆議院議員公設秘書

公式サイト noda.co

フッ化物洗口とは？

フッ素の水でブクブクうがいをするだけの簡単な方法で、安全でむし歯予防に大変効果的です。歯を丈夫にする、初期のむし歯の進行を抑える、むし歯菌の活動を抑制するなどの効果があります。

本市の歯科医療費推計

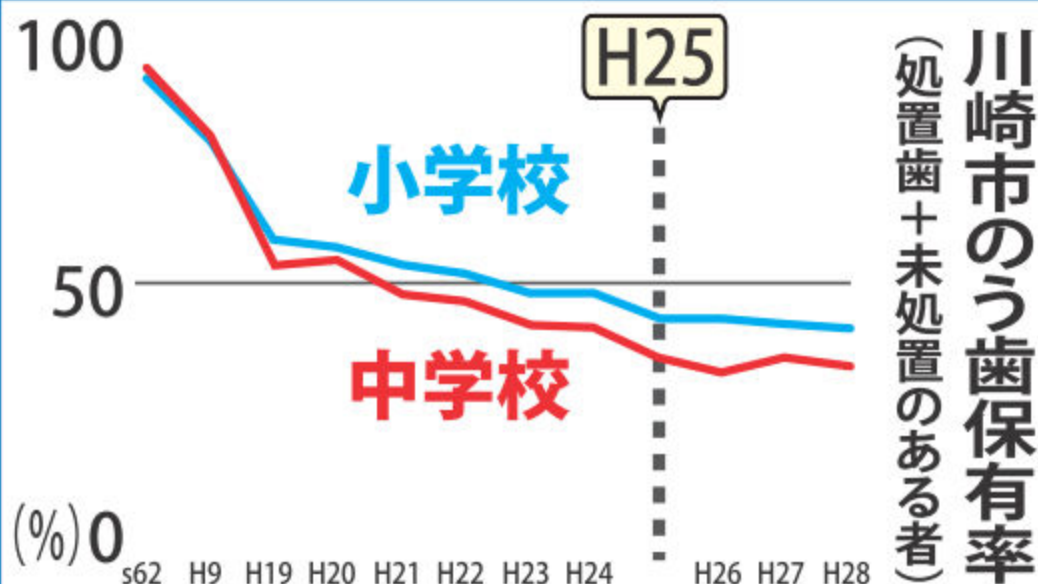
(小児医療費助成制度から算出)

- 小学校1～3年生 歯科総医療費推計
H28助成実績(千円) 助成対象者割合 自己負担割合
 $178,468 \div 0.8 \div 0.3 = 7億4,361万7,000円$
- 小学校1～6年生 歯科総医療費推計
 $743,617 \times 2 = 14億9,000万円$
- 小学校・中学校 全学年 歯科総医療費推計
 $743,617 \times 3 = 22億3,000万円$

フッ化物洗口の想定予算額

(全市立小学校実施の京都市H29予算額より算出)

川崎市年間想定予算額 **1,300万円**
費用対効果絶大 助成・医療費の削減に貢献



野田まさゆき
新春のつどい
日時 平成30年2月16日(金)
午後6時30分より
会場 川崎市産業振興会館
会費 3,000円